

## 緊急声明

「全国医学部長病院長会議は、すべての会員大学に対し、医師としての職業倫理に基づく診療業務の再点検を実施するとともに、大学・附属病院の医療安全体制におけるガバナンスを強化することにより、安心して質の高い医療を継続して提供するよう努める事を強く求める。」

全国医学部長病院長会議  
会長 荒川哲男

今般、大学・附属病院において、医療安全管理体制の不備や職業倫理の欠如により死亡事例が生じたことや、医師が「指定医」資格を不正取得するという不祥事が相次いで起こりました。高度・先進的な医療の開発、提供、並びに教育を担い、多くの患者さんの期待を担っている大学病院において、国民の方々の信頼を裏切り、不安と不信を招いたことは誠に遺憾であります。

このような事案の発生を繰り返さないよう、すべての会員大学においては、医師としての職業倫理に基づく診療業務の再点検を実施するとともに、大学・附属病院のガバナンス強化、医療安全管理体制の見直し、教育体制の充実を図ることにより、国民から信頼される大学・附属病院の本来の姿を取戻し、安心して質の高い医療を継続して提供するため、最大限の努力を傾注されることを強く希望します。